

上島町総合防災訓練

上島町消防だより



愛媛県防災ヘリコプター「えひめ21」による孤立地区からの救出訓練



災害対策本部設置



救助隊員による倒壊家屋からの救助訓練



自衛隊員による負傷者搬送



救急車による患者搬送



救助された重症者を自衛隊ヘリで搬送



伯方警察署が先導し陸上自衛隊到着

9月9日、弓削港駐車場を会場に、平成19年度上島町総合防災訓練が実施されました。

訓練は「中央構造線断層帯（石鎚断層）を震源とするマグニチュード8.0の直下型地震が発生し、上島町では震度6弱」と想定して行われ、9機関515名が参加しました。

今回の訓練では、陸上自衛隊や愛媛県消防防災航空隊からヘリコプター2機が飛来。自衛隊車両や弓削商船実習船「弓削丸」も参加する大規模訓練となりました。

当日は残暑きびしく、訓練参加者は額に汗して訓練に臨み、本番さながらの緊張感のある活動をしていました。

また、見学者も多く訪れ、訓練終了後に行われた各種展示コーナーは大変好評でした。

ヘリコプターや各種車両・輸送艦「ゆくら」の見学では、搭乗体験や記念撮影を楽しみ、起震車体験では激しい揺れに驚き、地震の怖さ恐ろしさを体感しました。

このほか、自衛隊炊事車を使った炊き出し訓練で調理された、おにぎりや味噌汁250人分が配られ、即完食。また、非常食の試食会もあり、見学者は興味深く試食をしていました。

上島町として今回で2回目となった総合防災訓練は、前回の経験を糧に実施され、住民の災害に対する意識高揚に繋がる有意義な訓練となりました。

今後も地域住民が安全で安心して暮らせる、「災害に強い上島町」を実現すべく、職員一同努力してまいりますので、町民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



入港中の海上自衛隊輸送艦「ゆら」と搬送訓練中の救急艇



福祉部保健師による救急処置訓練



弓削商船「弓削丸」による物資搬送訓練



消防団による消火訓練



自主防災組織によるバケツリレー



水消火器体験



福祉部・住民部による炊き出し訓練



海上自衛隊輸送艦「ゆら」見学の様子



非常食の試食



炊き出し試食の様子

平成19年度出動件数

	火災	救急
今年(8月)	0	48
昨年(8月)	0	47
昨年比	±0	+1
19年累計	2	311

平成19年8月31日現在



起震車体験



農業講座

しまなみ農業だより ソラマメ(一寸蚕虫)、エンドウの栽培

ソラマメ、エンドウの秋まき栽培は春先の晩霜により作柄が左右されるので、栽培する場所や種まき時期を早めないように注意する。今回は春に収穫するソラマメとエンドウの栽培ポイントについて解説します。

1. 栽培のポイント

- ◎豆類は連作を避ける。同一場所で連作すると生育が悪くなる（いや地）。
- ◎乾燥、過湿を嫌い、良く肥えた土壌を好む。◎酸性土壌を嫌う（苦土石灰等の施用が必要）

2. 品種と作型

(1)ソラマメ品種：稜西一寸（3粒莢率が高く、多収、5月中旬頃に収穫）

サヤエンドウ：莢の平たい時期に収穫する莢エンドウ、莢ごと食べる丸莢のスナップエンドウ、実を食べる実エンドウがあります。

(2)作型

表1 ソラマメ、エンドウの栽培作型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ソラマメ(移植)					■ ■					○ × × × △		
エンドウ(直まき)				■ ■ ■ ■	■ ■					○ ~ ○		

○ 種まき × 育苗 △ 植え付 ■ 収穫

3. 栽培管理

(1)播種、植え付け間隔

【ソラマメの育苗】種が腐りやすいので、直播よりも苗を植える方がよいでしょう。小さいビニールポット1鉢に1粒おはぐろを下に、1/4を表面に出して種をまきます。

発芽後、本葉が2枚のころ、うね幅180cm、株間60cmの間隔に植えます。畝にシルバーマルチをするとウイルス病（アブラムシ）の予防ができます。

【エンドウの種まき】うね幅180cmに株間20~25cm間隔に2粒ずつ1条に直にまきます。

(2)施肥、定植後管理

ソラマメ、エンドウともに植え付けの2週間前に10㎡あたり苦土石灰1kg、堆肥10kgを施用して耕うんします。その1週間後に10㎡あたり高度化成肥料500gを施用して耕うん後、上記の幅でうねを作ります。

ソラマメは本葉が5枚程度の時期に苗の先端を摘心し、株元から次々と芽が出てくる強い芽を1株に6本から8本残して他は摘除します。残した茎は花に光が充分当たるようにうねの両端にひもなどで誘引すると着莢、3粒莢率が向上します。誘引できないときは、株が開くように中心に土を載せて株を開かせます（図2参照）。エンドウはつるが伸び始めたら、ネット（目合いの大きいもの）や竹（枝付き）を利用してつるの誘引を行います（図3参照）。

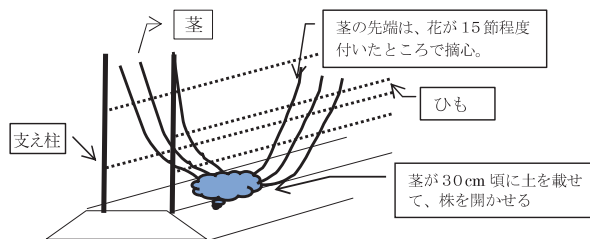


図2 ソラマメの誘引方法（茎を3本ずつ両側へ誘引）

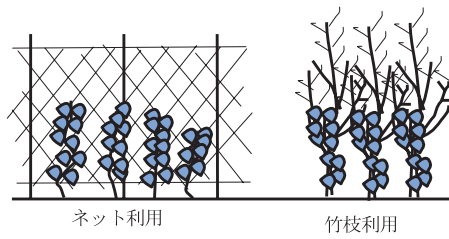


図3 エンドウの誘引方法（春以降）

追肥はソラマメ、エンドウともに着莢が確認できたら化成肥料を少量株の外側に施用する。（3月下旬頃から）。

(3)収穫 ソラマメの収穫は莢が下に垂れ下がり、莢の縫合部分を縦につまんで硬ければ適宜収穫します。エンドウはサヤエンドウ（平サヤ）は実が目立つ前に収穫します。収穫遅れは皮が硬くなるので早めに収穫します。

(4)病害虫防除 ソラマメのアブラムシ、赤色斑点病、エンドウのうどんこ病、ハモグリハエの被害の発生が多いので早めに防除します。薬剤は指導機関の指導を受けてください。